

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆

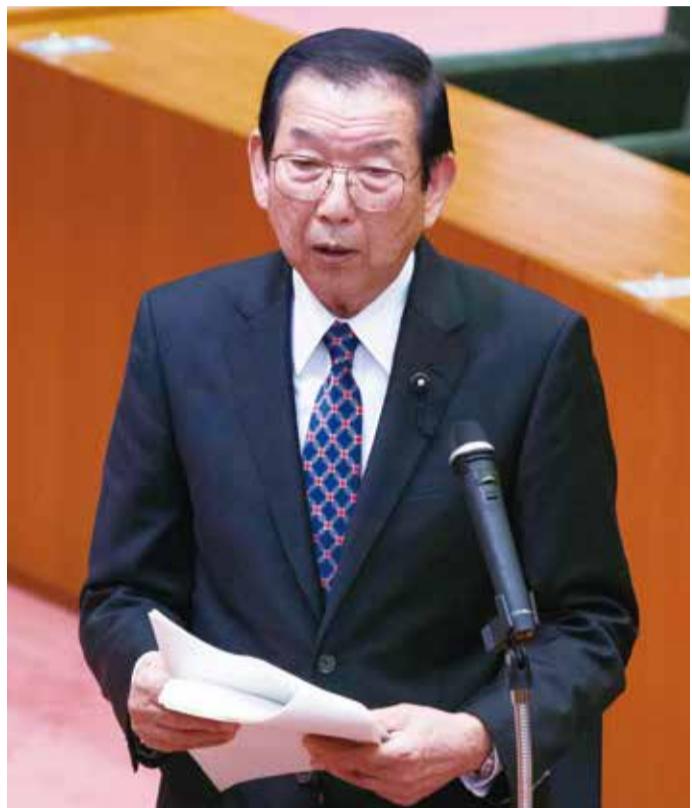


# 石井かずみ県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 2月定例県議会予算委員会



2月定例県議会予算委員会で質問する石井一美県議

わが国の将来を担う子どもが健やかに成長できるように、より良きふるさとづくりに力を注いでいる石井一美県議（鎌ヶ谷市、1期）は、2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、子ども医療費助成事業や保育士待遇改善、介護人材の育成などについて、県当局にこれまでの施策や今後の方針について尋ねました。子ども医療費助成では地域によって格差があつてはならないとして、全国統一の制度の創設を国にしつかりと要望するよう求めました。石井県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

石井議員 若い世代が出産や子育ての希望を叶える施策として、子どもの健康を支える子ども医療費助成事業について当局の考え方を確認する。まず、少子化は首都圏に位置する千葉県も例外ではないと考えるが認識はどうか。

児童家庭課長 県では、入院は小学校3年生までの子どもにかかる医療費について、実施主体の市町村へ事業費の2分の1を補助しているところです。

石井議員 安心して生み育てられる社会を構築するため、子育て支援や少子化対策に取り組む必要があると考えます。子ども医療費助成については、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担を軽減を目的に実施しているところであり、安定して制度を継続していくことが重要と考えています。

児童家庭課長 県では、全国統一の制度の創設や子ども医療費助成制度を創設するよう、県としてどう要望しているのか、そして、国の取り組みはどうなっているのか。

石井議員 国は実行しているので、県に対してしつかりと要望することによって、子どもたちの格差がなくなるよう望する。

## 全国統一の制度創設 国にしつかり要望を

## 子ども医療費助成

護者の経済的負担軽減を目的に実施しているところであり、安定して制度を継続していくことが重要と考えています。

石井議員 本県としても最低限、小学校6年生までの通院についても助成を拡大し、子育て支援や少子化対策に取り組む必要があると考えるが見解はどうか。

児童家庭課長 本県としても子育て世代を支援や少子化対策に取り組む必要があります。子ども医療費助成制度の創設や子ども医療費助成に対する国民健康保険の減額調整措置の全面廃止について、あらゆる機会を通じて要望を実現していくとともに、国に對し、全国統一の制度の創設や子ども医療費助成制度に対する国民健康保険の減額調整措置の全面廃止について、あらゆる機会を通じて要望を実現しています。

石井議員 子ども医療費助成制度については、子ども医療費助成制度の充実だけではなく、保護者の経済的負担の軽減を図ることを目的に、市町村と連携しながら実施しています。

児童家庭課長 今后とも子育て世代を支えるため、安定して制度を継続していくとともに、国に對し、全国統一の制度の創設や子ども医療費助成制度に対する国民健康保険の減額調整措置の全面廃止について、あらゆる機会を通じて要望を実現しています。

## 入院・通院とも医療費助成

児童家庭課長 県内市町村で14市町村が高校3年までが計特殊出生率は、1985年から全国平均を下回っています。おり、本県も例外ではなく、少子化の状況にあると認識しています。

石井議員 少子化対策としての子ども医療費助成事業の現状はどうなっているのか。

児童家庭課長 県内市町村で14市町村では、入院・通院とも中学校3年生までを対象としているのは40市町では、平成29年8月1日現在、入院・通院とも中学校3年生までが対象となっています。

児童家庭課長 全国においては、未就学児までの医療費助成について、国民健

康保険の減額調整措置を行わないこととし、平成30年度から実施予定となつていては、子どもの保健対策の充実及び保

石井かずみ・PROFILE

■略歴■

- 昭和19年 鎌ヶ谷市に生まれる
- 昭和38年 千葉工商高校卒 同年 有限会社石井商店勤務
- 昭和62年 鎌ヶ谷市議会議員当選 (7期)
- 平成9年 鎌ヶ谷市議会議長
- 平成27年 千葉県議会議員当選

■現職■

- 千葉県議会 商工労働企業常任委員会委員長
- 鎌ヶ谷市野球協会会长
- 社会福祉法人理事

●県政や鎌ヶ谷市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

**石井かずみ** 県議事務所 TEL 047-443-4731 FAX 047-443-4731

# 保育士の待遇改善



担当者の答弁を聞く石井一美県議

# 市町村間の格差是正必要

自治体としての緊急的な政策判断により、待遇改善事業の取り組みが異なるものと考えます。

**石井議員** 県の保育士の

待遇改善事業についても、財政力による格差は正の観点が必要であると思うが、見解はどうか。

**子育て支援課長** 本来、保育士の給与格差は、国の定める公定価格によるところが大きいと考えますので、県としては、国に対して保育士の待遇改善を一層進めるよう要望してまいります。

また、県の保育士待遇改善事業については、その事業効果を検証してまいります。

県としては、国に対して保育士の待遇改善を一層進めるよう要望してまいります。

**道路環境課長 鎌ヶ谷大仏交差点改良** 道路問題について伺う。鎌ヶ谷大仏交差点改良事業の事業概要と進捗状況はどうか。

歩道については、計画延

**用地取得を優先** 右折レーン設置の用地取得を優先

育士待遇に格差が出ているので、事業を検証していただきたい。

**石井議員** 市町村間の保育士待遇改善事業において、市町村間の保育士待遇改善事業についても、事業を検証していくべきだ。

長1300メートルのうち、延べ約750メートルが完了し、用地は面積ベー

スで約7割を取得したこと

です。

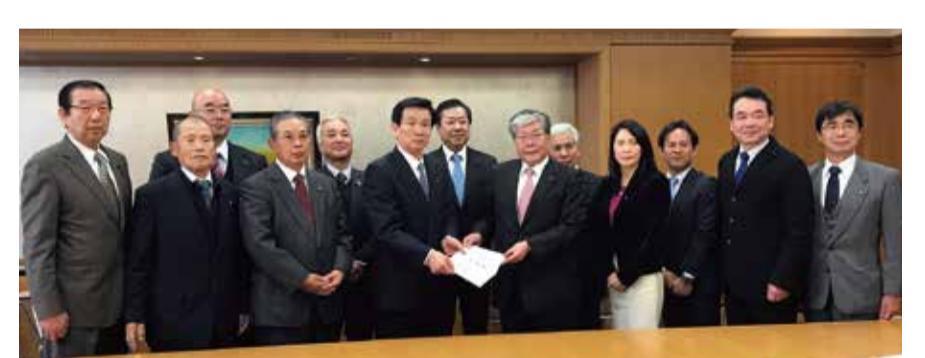
**石井議員** 事業の進捗が遅れている要因は何か。

**道路環境課長** 用地の取得にあたり、補償内容の合意に時間がかかるなど難航している案件が多く、事業の進捗に遅れが生じています。

長用地の取得にあたり、補償内容の合意に時間がかかるなど難航している案件が多く、事業の進捗に遅れが生じています。

**馬込十字路交差点改良** 馬込十字路交差点改良事業の課題、平成30年度の事業概要、今後の見通しはどうか。

道路環境課長 馬込十字路について、現在県道市川印西線の右折レーン設置及び残る歩道を整備するための用地取得を進めておりますが、交渉が難航しています。

北千葉道路早期事業化などを森田知事に陳情した  
石井一美県議(左)と鎌ヶ谷市政友会の市議会議員

## 介護人材の確保へ

### 介護口ボットやICTの活用も

うなど、強く働きかけてもらいたい。

石井議員 介護の仕事の一つでも取り上げられたところです。

石井議員 介護の仕事の魅力をアピールし、一人でも多くの方々が介護の仕事について関心を持つてもらえるよう、取り組みを続けてもらいたい。

石井議員 介護の仕事のマイナスマージを払拭するため、県はどう取り組んできたのか。

健康福祉指導課長 県では、小・中学生などを対象にした、介護体験等の事業を実施してきたところですが、今年度は、介護の仕事の魅力を伝える動画CMを作製し、電車内やインターネット等で放映

**速やかな整備を**

石井議員 船橋我孫子バイパス線

イ・バス線整備事業の事業概要と見通しはどうか。

道路整備課長 船橋我孫子バイパス線についてまだ、一部の地権者の方の理解が得られないところですが、

平成30年度も粘り強く交渉を重ね、事業の推進に努め

を進めています。

石井議員 その路線は北千葉道路の

アセス道路なので、スピード感を持って、事業を

進めていただくようお願い

平成30年4月1日(日曜日)

**石井議員** 昨年10月から県助成による保育士の待遇改善事業が創設された。待機児童解消に向け、東京都に次ぐ迅速な対応と高く評価する。

ただ、保育士の待遇改善には市町村としても取り組まざるを得ず、その中で市町村間での格差が生じているのも事実。これにより、保育士確保に隔たりが生じることになりかねないと重大な懸念を持っている。

そこで伺うが、保育士の待遇改善についての県の認識と国に対する取り組みはどうか。

**子育て支援課長 保育士** 確保・定着促進のためには、給与の底上げが必要であると認識し、給与に上乗せ補

助を行なう千葉県保育士待遇改善事業を昨年10月から市町村と連携して実施しています。

また、平成30年度国の施策に対する重点提案・要望において、「保育士の確保に向け、待遇改善を図るために、保育士の給与が他の職種と比べ適切な水準となるよう公定価格の引上げを行う」よう要望しています。

**石井議員** 市町村間でなぜ保育士待遇に格差が生じるのか。

**子育て支援課長 民間保育所等への給付費の積算の**もとなっている国の公定価格は、市町村ごとの地域区分によって単価が異なることから、同規模の保育所でも給付額に差が生じている

今後も国に対して要望を行なうなど、強く働きかけてもらいたい。

高齢者福祉課長 国が実施した平成29年度介護事業経営実態調査によると、平成28年度決算において、特

別養護老人ホームの介護職員の平均給与は、施設で働く看護職員と比較して、月

額約9万円低い状況となつています。

石井議員 介護職員の給与は、施設で働く他職種と比較してどうか。

高齢者福祉課長 国においては、平成24年度から、介護保険制度の中で介護職員待遇改善加算の仕組みを創設し、その後、段階的に加算

額の引き上げを行ってきたところです。

直近では、平成29年度の臨時報酬改定により、月額1万円相当の加算額の引き上げを行った結果、現在では、月額3万7千円相当の待遇改算加算となりました。

石井議員 介護職員の確保に当たっては、待遇改善が欠かせない。今後も国に対して要望を行なうよう、取り組みを続けてもらいたい。

また、介護口ボット、ICTの活用、外国人労働者の活用など総合的に対応する必

要もある。県の指導力を発揮いただき、高齢者が最後まで住み続けられる千葉県の実現について取り組んでいただけます。

**石井議員** この路線は北千葉道路のアセス道路なので、スピード感を持って、事業を